

絵本 ~心のキャッチボール~

10
2012

the
0123

アートチャイルドケア

絵本~心のキャッチボール 2012年10月

- ◎愛 情：読み手と絆を深める
- ◎情 操：絵本が好きになり、豊かな人間性を育む
- ◎知 育：「想像力」「集中力」が育ち、読み書きへの関心が高まる



「早くから文字を教える」、「自分で読ませる」、「読み終えたら必ず感想を聞く」という事が本を苦手にさせてしまいます。反対に、本好きなお子様に育つには、まず「美しいことば」、「心のごもった言葉」を耳からたくさん聞き、読み聞かせの中で「自分で読むのではなく、読んでもらう」言葉を耳から聞き、絵を読むことが大事です。お子様は「ことば」をもとに、イメージを描いて絵本の世界を体験し楽しめます。読み終えたお子様の心は感動でいっぱいです。心からの感動を大切にしましょう。



年齢別の目標

乳児(0~2歳)

- 1期：絵と読み手の語り掛けに興味を覚え、絵本に関心を持ちます。
- 2期：絵本を楽しむ好奇心が芽生えます。
- 3期：絵と現実が体験を通して、少しずつ一致する。
- 4期：イメージが膨らみ、次のページに現れることを期待して見るようになる。

幼児(3~6歳)

- 前期：色・形・大きさ・表情・音・動き・言葉を認識する
後期：色・形・大きさ・表情・音・動き・言葉を想像する



今月の推奨絵本

やさしい

作・絵 平山和子 福音館書店

乳児向け



トマト、だいこん、キャベツ……毎日私たちの食卓にのせられる野菜の美しさと畑で成長した様子が、心をこめていねいに描かれています。

講座で紹介した絵本 ちびゴリラのちびちび

作 ルース・ボーンスタイン 訳 いわた みみ ほるぷ出版

2・3歳向け

赤ちゃんゴリラのちびちびは、生まれたその日から、家族とジャングルのみんなに愛されます。森の動物達が、ちびちびを可愛がる様子がとっても愛情いっぱい素敵なお話です。



読み聞かせ講座の様子



7・8月に2012年度「読み聞かせ講座」が行われました。今回はその様子をお知らせ致します。



研修目的

絵本そのものの良さを伝える

ポイント



◎読み聞かせの基本

お子様が集中できる静かな環境の中で、「間」や「速度」を意識しながら読み聞かせましょう。

◎絵本の魅力

お子様たちは言葉を耳で聴きながら、お話の中の想像の世界を拓けます。絵本そのものにお子様を喜ばせる力があるので、絵本を主役に一つ一つの言葉を大切に読みきかせましょう。

◎絵本の実践

読み聞かせに基本はありますが育児と同じで明確な答えはありません。お子様自身が感じて想像できるように、過剰な演技や演出はせず出来るだけシンプルに、読み手本人が楽しむことが大切です。